



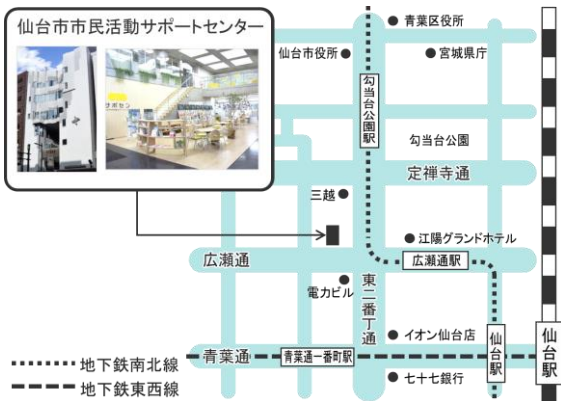
インフォメーション

情報・相談窓口／活動場所

仙台市市民活動サポートセンター

サポセン

仙台市市民活動サポートセンター



さまざまな分野の営利を目的としない公益的な活動をしている皆さんを支援するための拠点施設です。市民活動や協働に関する相談、イベントや講座の開催、活動に使用できる研修室などの貸し出し、ホームページや広報誌による情報発信などを行っています。市内の市民活動情報が集約されているので、情報収集にも活用できます。

- 開館時間 月～土 9：00～22：00
日・祝 9：00～18：00
- 休館日 毎月第2・4水曜（祝日にあたる場合は翌日）、年末年始
- 所在地 〒980-0811 仙台市青葉区一番町4-1-3
- 連絡先 TEL：212-3010 FAX：268-4042
- Eメール sendai@sapo-sen.jp
- URL https://www.sapo-sen.jp

支援情報／活動事例

協働ナビゲーションサイト「できるよ！仙台」



事例を紹介した動画
「みんなが主役 協働のまち-仙台-」

協働ナビゲーションサイト「できるよ！仙台」

仙台市の支援制度や施設・相談窓口の紹介のほか、活動を充実させるためのヒントとなる活動事例やデータ・手引きなど、これから活動を始める方からすでに活動を行っている方まで幅広く活用していただける情報を発信しています。
また、事例集「協働まちづくりの実践」に掲載されている2事例を、動画でご紹介しています。

- URL www.kyodonavi-sendai.jp



手引き／活動事例

協働の手引き・事例集「協働まちづくりの実践」



市内で行われている25の協働事例について、協働を実践する人々の活動に対する思いや活動団体相互の協力体制を写真や図解を交えて紹介しています。
企画・編集には、仙台市協働まちづくり推進委員会委員と市民活動団体が加わりとともに、取材・執筆は市民や学生、市職員ライターが行うなど、全工程を市民との協働により制作しています。

- 配布場所 仙台市市民活動サポートセンター、市役所本庁舎市民のへや、各区役所まちづくり推進課など
- ※協働ナビゲーションサイト「できるよ！仙台」にも掲載しています。

協働によるまちづくり・仙台



仙台市では、「誰もが心豊かに暮らし続けることができるまち」を目指して、市民活動団体、地域団体、教育機関、事業者、行政等の多様な主体間の協働によるまちづくりを推進しています。

さまざまな専門性や強みを持った主体がそれぞれの力を生かし、枠組みを超えて連携・協力しながら行う取り組みが、地域の課題解決や魅力向上につながり、持続可能なまちが築き上げられています。

協働によるまちづくりとは



仙台市協働まちづくり推進委員会

当委員会は学識経験者や市民活動実践者などで構成され、協働によるまちづくりの推進のために必要な事項の審議を行っています。

事務局：仙台市市民協働推進課 TEL 022-218-1089

発行：第3期仙台市協働まちづくり推進委員会

石塚 直樹（一般社団法人みやぎ連携復興センター代表理事）
伊勢 みゆき（特定非営利活動法人まなびのたねネットワーク代表理事）
大庭 克己（仙台商工会議所中小企業支援部地域づくり推進グループ次長）
風見 正三（宮城大学理事・副学長・事業構想学群長・事業構想学研究科長）
佐藤 亜矢子（公募委員）
島田 福男（川平学区連合町内会会長・仙台市連合町内会会長副会長）

相馬 潤子（特定非営利活動法人みやぎ発達障害サポートネット代表理事）
其田 雅美（東北学院大学学長室地域共生推進課、同大学ボランティアステーション担当、同大学地域共生推進機構）
西出 優子（東北大学大学院経済学研究科教授）
浜 知美（アティヴィー株式会社社副社長）
緑上 浩子（岩切の女性たちによる防災宣言をつくる会）

（令和2年3月）



委員会で審議を行った施策の例

①協働まちづくりの推進のための基本方針

②市民活動サポートセンター 機能強化のためのリニューアル

可動の仕切りや家具を設置し、多様な用途に対応

③協働まちづくり推進助成事業

複数団体が協働により、社会的課題の解決やまちの魅力の創造を図る事業への支援を行う「仙台市協働まちづくり推進助成事業」を構築。平成29年度にモデル事業を実施し、平成30年度から制度の本格運用を開始しました。

本事業は、助成と併せて活動団体にコンサルティングや専門家の派遣を行うことで、協働のノウハウの蓄積や定着、事業実施基盤の強化を図る点が特徴となっており、他の政令指定都市には見られない取り組みです。



地域の取り組みを次代へ継承するために ～川平学区連合町内会の取り組み～

第3期仙台市協働まちづくり推進委員会委員
川平学区連合町内会会長・仙台市連合町内会長会副会長
島田 福男

川平学区連合町内会は、1979年（昭和54）の設立以来、地域の各種団体とともに自主防災に力を入れて活動を続けてきました。そのため、東日本大震災の際は、災害対策本部の設置や避難所の開設・運営も迅速かつ的確に対応することができました。

一方で、近年は地域の高齢化が加速し、役員の成り手、担い手不足が大きな課題となっており、大学や企業から連携の話をいただくことも増えましたが、対応できる人がいないのです。

町内会のような地縁組織は、大学や企業と協働することで活性化が図られると思いますし、これまでに築いてきた地域のネットワークを次代に継承していくためにも、例えば中間でコーディネートをするNPO等の団体がいてくれれば心強いと思います。

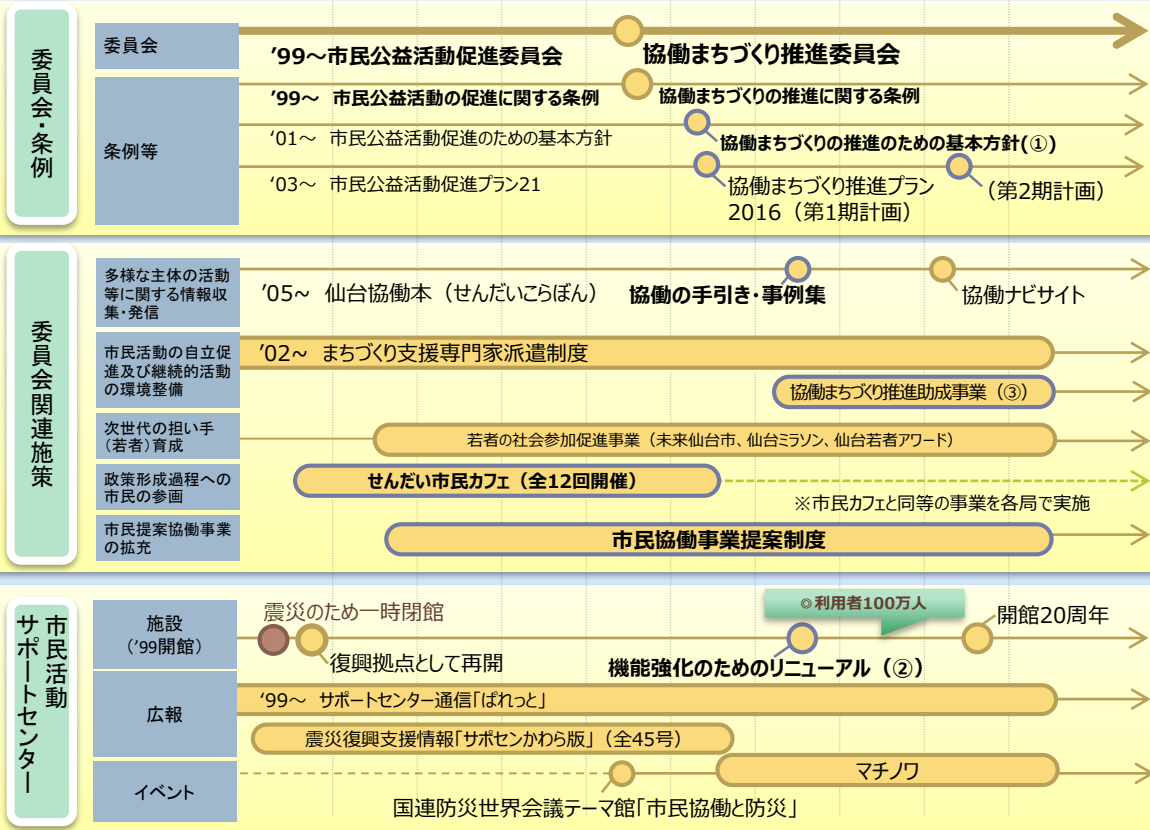
協働の関係図



● は委員会で審議を行った施策

... 2011 | 2012 | 2013 | 2014 | 2015 | 2016 | 2017 | 2018 | 2019 | 2020 ...

東日本大震災



多様な主体がつながり、協働が生み出される環境へ



○○○○○○○○○○

第3期仙台市協働まちづくり推進委員会委員長
宮城大学理事・副学長・事業構想学群長・事業構想学研究科長
風見 正三

(700字)